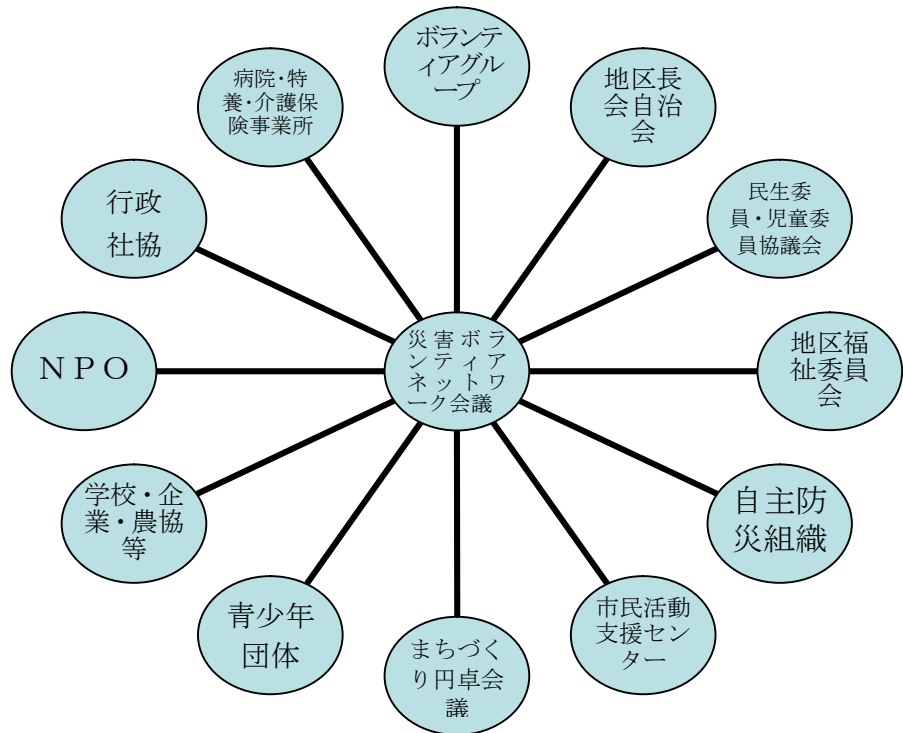


事業概要

モデル事業名	災害ボランティアネットワーク会議（仮称）設置・運営事業
分類	<input checked="" type="checkbox"/> 一般枠 <input type="checkbox"/> 震災対応案件
事業実施主体名	社会福祉法人 大阪狭山市社会福祉協議会 大阪狭山市
実施期間	平成23年12月14日～平成24年3月31日
支援額	1,992,417円
マルチステークホルダー（会議体）の取組状況	<p>災害時の支援活動の拠点となる災害ボランティアセンターの設置・運営（平常時の研修・訓練等を含む）について、大阪狭山市は市社会福祉協議会との間で協力して行う旨の協定を平成23年8月に交わしている。本事業は、この災害ボランティアセンターを中核とした効果的な災害支援態勢の整備をめざすものである。</p> <p>また、市社会福祉協議会は東日本大震災時においても社会福祉協議会の全国的なネットワークを生かした支援活動に参加するとともに、市民を募ってのボランティアバスの運行や、実施後、報告会で市民に報告するなど、ボランティア活動を積極的に生かすための活動を実施している。</p>
目的・趣旨	<p>大阪狭山市が被災した場合や、東日本大震災のような大規模災害が起こった場合に備え、市内の各種団体・NPO・企業・学校等に参加を呼びかけ、連携協働母体として災害ボランティアネットワーク会議(仮称)(以降「会議」という。)を設置する。</p> <p>この会議は、東日本の被災地を視察し、自分の地域で平常時に何ができるのかを検証すると同時に、市内ですでに機能している自主防災組織や要支援者に対する取り組みを包括的・有機的に連携させるものであり、参画団体の関係強化（平常時）と災害発生時に全国から駆けつけるボランティアに対する対応や、敏速な救援活動・支援活動ができるよう訓練等を行うものである。さらに、次世代を担う子どもたちや青年層が主体的に防災・減災を切り口にした地域づくりを進めるなど、地域での取り組み強化と啓発活動を継続して行う母体として機能することをめざす。</p>
事業内容	<p>①組織化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大阪狭山市内の各種団体・NPO・企業・学校等に働きかけ、この会議の必要性や運営方針への理解を求め、組織化を図る。



②被災地より学ぶ

- ・実際の被災地を自分で見て、活動を続けておられる支援者から実際の活動内容や課題などを聞き取り、自分の地域で何が必要かを検証する。

③情報共有・連携強化

- ・各種団体の持つ特性を共有し、災害時にどう連携できるかを整理し、発災後速やかに実践できるよう役割分担を明確化する。
- ・定期的な会議の開催や、事業・催し物を実施する中で参画団体の連携強化を図る。

④シミュレーション訓練の実施

- ・災害発生をシミュレートし、救援活動や支援活動が敏速に行えるよう議論・訓練する。
- ・市外から集まるボランティアの支援をスムーズに被災者に届けるため、受援力向上の訓練を行う。

⑤研修会の実施及び参加

- ・会議参画団体に対し、防災知識や災害時の取組みについての研修会を実施する。
- ・担当コーディネーターを全社協、府社協の研修に参加させ、最新の救援方法や避難所運営方法を習得すると共に、平素から情報がやり取りできる環境を整備する。

⑥防災・減災に対する啓発活動

- ・市民(子どもから大人まで)を対象に、講演会の実施やリーフレットの作成配布など、防災・減災に対する啓発活動を継続して行う。

⑦市外で起こった災害への支援

- ・市外で発生した災害での支援活動を検証し、発災後速やかに被災地に赴くことができる環境を整備する。

⑧アドバイザーの設置

- ・会議の基本的な方向づけや運営方法などについて助言をいただくため、定期的な事業内容を決定するまでの立ち上げの期間、災害現場での活動経験を持つアドバイザーを設置する。